

リアルタイム自律判断AIとは？ お伝えしたいこと

国内特許第7124259号（米国特許出願中）

商標登録第6891438号（自己判断AI®）

株式会社 PLMレボリューション
代表取締役社長 加藤 幸司

PLM Revolution

概要紹介

事前学習を必要としないリアルタイム判断AI

強化学習 や ディープラーニング などの事前学習は不要 = AI技術者を必要としない

判断結果を再現するAIではない 判断の考え方をもとに自律判断するAI

総合的な判断の考え方データ を自動生成することにより自律判断する世界初のAI

従来型すべてのAI（生成AIを含む）は 自ら判断する機能を持っていない

パターン認識による判断の再現や アーキテクチャによる次の文言選定が実際の処理

プログラム言語の処理限界を超える 情報処理の方法に関する特許技術

国際調査機関が 新規性・進歩性を認めた 情報処理の方法

複数の判断材料を総合的に考え 最善を判断する人の能力を情報処理化する技術

プログラム言語だけでは不可能な人の判断に依存する業務の自動化を可能にするAI

自動運転の高度化

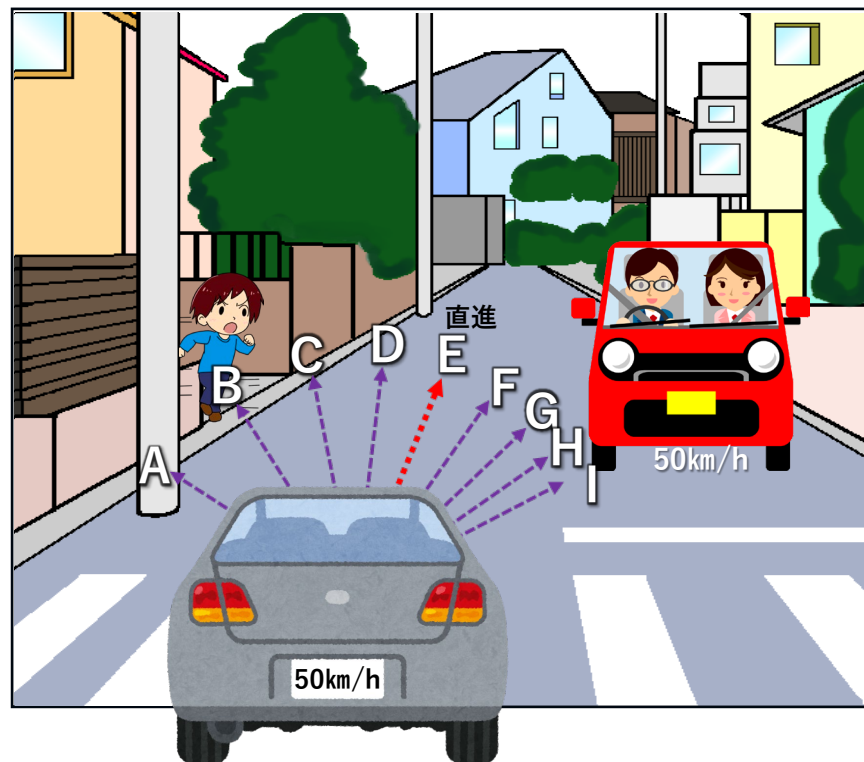
道路状況を事前学習で網羅するのは不可能
= 安全性を確保できない

カメラ、LiDARなどの リアルタイム情報 をリアルタイムに判断することが重要

必要なのは、直前の危機を避ける操作ではなく
被害最小化に向けた 初動と停止までの最善操作

安定した挙動による被害の最小化は 最初の操作（初動）判断で決まる

被害最小化につながる操作が存在する その操作を **総合的に判断** するAI



ハンドル操作とブレーキ操作を**連携させた総合的な判断**も可能

超高速な判断が可能

軽量なテキストデータのみの処理であるため、判断出力が高速

業務のDX化支援

他社でも導入が可能なツールでは
機能による差別化を実現できない

知的資産を活かした業務の自動化が 業務全体の成果拡大に貢献する

特定タスクの支援は業務を効率化/高精度化
するが 業務の変革 は実現できない

特定タスク支援は所詮 便利になるレベル 業務の変革は人依存業務の自動化で実現する

知的資産のAI化が 他社との差別化 を可能にする

莫大な投資により得られた知的資産を独自のツールとして活かすことで差別化する

総合的な判断が人の判断に依存してきた 業務の自動化を加速する

ツール活用と人依存業務の連携により 分断されてきた業務の自動化 を推進できる

リアルタイム自律判断AI単独の開発は 1人日程度

開発と運用管理はIT部門／判断処理の開発と精度を決めるのは関連部門の担当者

組み込みが可能のため製品/産業機器/ロボット などの 制御機能の高度化 にも利用可能

複数のセンサー情報は同じでも周囲の 状況や要求の違いに応じた機能制御 が可能

PLM Revolution